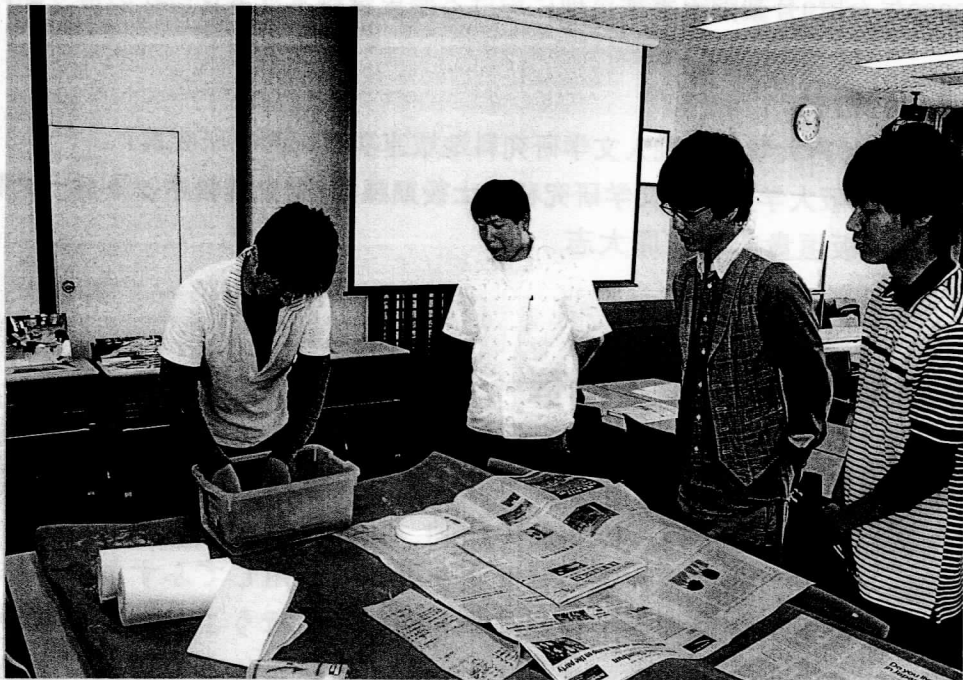


編集・発行 愛媛資料ネット（芸予地震被災資料救出ネットワーク愛媛）  
〒790-8577 松山市文京町3 愛媛大学法文学部寺内研究室気付  
TEL 089-927-9317 Eメール terauchi@LL.ehime-u.ac.jp 郵便振替 01690-8-5497

## 水損史料修復ワークショップを開催

6月19日に、水損史料修復ワークショップを開催しました。松下氏のあいさつの後、板垣氏の歴史資料ネットワークの活動概要報告、吉原氏の水損史料救出の具体的な活動報告がありました。次に、河野氏が、エタノールによる史料の消毒方法、水に濡れた史料をキッチンペーパーなどを使って乾かす方法を、さらに松下氏が、泥の付いた史料を不織布に挟み、水に浸けてあるいは流水を使って泥を落とす方法を実演されました。その後五班に分かれ、講師の指導を



「水損史料修復ワークショップ」

受けながら、実際に史料を水に濡らしてキッチンペーパーを使って乾かしたり、泥の付いた史料から泥を取ったりしました。そして最後に今後の史料保存のあり方をめぐって意見交換をし、ワークショップを終えました。

参加者のほとんどがこうした作業は初めてであり、学ぶところの多いワークショップでした。この貴重な経験を生かし、県内に水損史料修復の方法を広げていきたいと考えます。

## 水損史料修復ワークショップ プログラム

### あいさつ

松下正和（神戸大学大学院人文学研究科特命講師・歴史資料ネットワーク副代表）

### 報告

板垣貴志（神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター学術推進研究員）

「地域歴史遺産の保全・継承に向けて－歴史資料ネットワークの活動から－」  
吉原大志（神戸大学大学院人文学研究科博士後期課程）

「水害から歴史資料を救う

－2009年台風9号豪雨水害被災地における歴史資料ネットワークの取り組み－

### 実演・実習指導

河野未央（神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター研究員）

中野賢治（大阪大学大学院文学研究科博士後期課程・歴史資料ネットワーク事務局長）

松下正和・板垣貴志・吉原大志

## 愛媛資料ネット総会を開催

本年度の愛媛資料ネット総会が6月19日に愛媛大学法文学部大会議室で開催されました。総会では、昨年度の活動、会計報告が了承された後、今年度の活動方針として、科研費などの補助金を有効に活用してふすまの解体・下貼り文書剥がしなどの資料調査・整理活動を積極的に行うこと、10周年活動記録集を編集することなどが確認されました。また、これまで以上に歴史資料保存活動を一般市民に理解し、参加してもらうための方法等について意見が交わさ

れました。愛媛資料ネットでは総会で出されたこうした意見をできる限り今年度の活動の中で生かすよう努力したいと思います。なお、新委員として加藤英進氏、田中貞輝氏が選出されました。

代表：内田九州男

委員：大成経凡、川岡勉、加藤英進、川東靖弘、武智利博、田中貞輝、徳永高志、永井紀之、西尾和美、西村浩子、松原弘宣、村上正郎、森正史、森正康、矢野達雄、山内譲

事務局長：寺内浩

### 会計報告(2009・4・1～2010・3・31)

収入	募 金	1,000
	利 子	127
	前年度繰越金	349,965
	計	351,092
支出	その他	1,575
	次年度繰越金	349,517
	計	351,092

## 調査・整理活動、その他

- ◆ 6月19日に、愛媛大学で愛媛資料ネットの総会と水損史料修復ワークショップを開催しました。
- ◆ 6月5日と7月3日に、愛媛大学でふすまの解体と下貼り文書はがし作業を行いました。
- ◆ 今年度の愛媛資料ネットの活動には、科学研究費補助金（基盤研究(s)、研究課題名：大規模自然災害時の史料保全論を基礎とした地域歴史資料学の構築、研究代表者：奥村弘）が使用されています。

## 愛媛資料ネット活動日誌

- ・ 6月5日  
愛媛大学でふすまの解体と下貼り文書はがし作業（11名）
- ・ 6月19日  
愛媛大学で愛媛資料ネットの総会（14名）  
愛媛大学で水損史料修復ワークショップ（35名）
- ・ 7月3日  
愛媛大学でふすまの下貼り文書はがし作業（7名）